

科目	専攻科ゼミナールI (Advanced Course Seminar I)		
担当教員	酒造 敏廣 教授, 鳥居 宣之 教授, 柿木 哲哉 教授, 上中 宏二郎 准教授, 野並 賢 准教授, 宇野 宏司 准教授, 小塚 みすず 講師, 高田 知紀 准教授, 田島 喜美恵 助教		
対象学年等	都市工学専攻・1年・前期・必修・2単位		
学習・教育目標	B4(40%), C2(60%)	JABEE基準	(d),(e),(f),(g),(i)
授業の概要と方針	専門工学に関連する外国語文献を輪読する. 担当部分について, その内容を説明し考察を述べるとともに討論をゼミナール形式で行う. 幅広い工学分野の新しい学識を得るとともに, 関連する文献を調査することにより最新技術や研究の手法について実践的に学ぶ.		
	到達目標	達成度	到達目標別の評価方法と基準
1	【B4】都市工学関連の英文文献を読み, その内容を理解し, 日本語で説明できる.		都市工学関連の英文文献の内容について, 日本語で説明したレポートで評価する.
2	【C2】専門分野の問題に関連する英語の文献を調査し, その内容を発表することができる.		専門分野の問題に関する英語文献を調査, 発表させ, 資料として作成したレポートで評価する.
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は, レポート100% として評価する. 各担当教官による評価点を平均して評価する. 100点満点の60点以上を合格点とする.		
テキスト	適宜プリント等を配布する		
参考書			
関連科目	都市工学全般		
履修上の注意事項	都市工学実験実習, 卒業研究: 都市工学に関する調査, 分析手法など基礎的な知識を必要とする.		

授業計画(専攻科ゼミナール)

	テーマ	内容(目標・準備など)
1	海岸工学(Coastal Engineering)に関する英文論文の輪読(1)	海岸工学に関する英文文献を輪読し,内容の解説をさせる.
2	海岸工学(Coastal Engineering)に関する英文論文の輪読(2)	海岸工学に関する英文文献を輪読し,内容の解説をさせる.
3	橋梁の歴史と設計に関する英文の輪読(1)	産業革命の後に発展した鋼構造物(Steel Structures)の歴史について英文文献を輪読する.
4	地震工学・耐震工学(Earthquake Engineering)に関する文献の輪読(2)	地震工学・耐震工学に関する英文論文を輪読する.
5	構造工学(Structural Mechanics)に関する英文の輪読(1)	構造工学に関する英文論文を輪読する.
6	構造工学(Structural Mechanics)に関する英文の輪読(1)	構造工学に関する英文論文を輪読する.
7	土質力学(Soil Mechanics)に関する英文論文の輪読	土質力学に関する英文論文を輪読する.
8	土質力学(Soil Mechanics)に関する英文文献調査と発表	土質力学に関する英文文献を各自で調査し,その概要を発表する.
9	Ecological Researchに関する英文論文の読解	Ecological Researchに関する英文論文を輪読する.
10	Common spaceに関する英文論文の読解(1)	Common spaceに関する英文論文を輪読し,日本語要約をおこなう.
11	Common spaceに関する英文論文の読解(1)	Common spaceに関する英文論文を輪読し,日本語要約をおこなう.
12	プロジェクト・マネジメント(Project Management)に関する英文の輪読(1)	プロジェクト・マネジメントに関する英文論文を輪読する.
13	プロジェクト・マネジメント(Project Management)に関する英文の輪読(2)	プロジェクト・マネジメントに関する英文論文を輪読する.
14	交通計画(traffic planning)に関する英文の輪読(1)	交通工学に関する英文論文を輪読する.
15	交通工学(Traffic Engineering)に関する英文の読解(2)	交通工学に関する英文論文を輪読する.
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
備考	本科目の修得には,60時間の授業の受講と30時間の自己学習が必要である. 中間試験および定期試験は実施しない.毎回,英和辞典を持参すること.	